

## 中国ブロック会議（平成28年7月15日・広島県：ANAクラウンプラザホテル広島）

参加者は約160名。はじめに中国ブロックを代表して永見憲吾中国ブロック長、また開催県から原田優子広島県専修学校各種学校連盟会長があいさつを述べた。続いて、全専各連の小林光俊会長があいさつを述べた後、来賓、各県会長が紹介され、来賓を代表して広島県の高垣広徳副知事が祝辞を述べた。

山谷えり子参議院議員をはじめとした、本ブロック会議に寄せられた祝辞が紹介された後、総会では、原田広島県会長が議長に選出され、①平成27年度収支決算報告、②平成28年度収支予算案、③役員改選、④大会決議文採択、⑤広告倫理運営委員会報告、⑥次期開催県の決定、の各議案が上程され、全ての議案が全会一致で承認された。新中国ブロック長は、関谷豊山口県会長が選任され、次期開催県は山口県、7月13日に湯田温泉ホテルニュータナカにおいて開催を予定。

小憩後、研修会となり、星川正樹文部科学省専修学校教育振興室長補佐が、今年度の文科省予算の概要および職業実践専門課程制度、「新たな高等教育機関の制度化」等について解説、とくに専修学校各種学校の地位向上、質の保証を図るためにも、自己評価・学校関係者評価を積極的に公表・発信するよう希望する、と述べた。続いて、「職業実践専門課程制度」導入事例として吉本恒雄広島工業大学専門学校教育部長から事例発表が行われた後、中央情勢報告として全専各連事務局からの説明、各県状況報告が行われた。最後に赤池誠章参議院議員からの国政報告が行われた後、質疑応答が行われ会議を終了した。小憩後、懇親会を開催し全日程を終了した。

### 【大会決議】

今日、グローバル化や情報化の進展により世界全体が大きく変化していくなか、我が国は急速な少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や過疎化の進行など、多くの課題を抱え、将来を見通すことも困難な状況となっております。これらを克服し、我が国が将来にわたって発展し豊かな社会を築いていくためには、専門的な力が必要であることは言うまでもありません。専修学校各種学校で学ぶ学生は、将来のスペシャリスト（専門的職業人）を目指しており、これからの我が国の発展に欠かせない重要な人材であるといえます。

専修学校各種学校は、社会の変化に対応し多様な職業教育を実施して各分野の専門的、技術的な知識及び技術を習得した人材を様々な産業界に送り出し、日本を支えてきたモノづくりや職人ワザの継承に大きく貢献してまいりました。さらに地域密着型の教育機関として地域にも役立ってまいりました。

平成25年に文部科学省から質の高い職業教育を推進する制度として「職業実践専門課程」が設けられました。これは今後我々が社会において、高度な職業教育機関としての確固たる位置付けを得るための法制上の基盤の一つとなるものと確信しております。

さらに平成31年度発足を目指した新たな高等教育機関「職業専門大学」が検討されておりますが、この職業専門大学には、40年以上にわたって職業教育を担ってきた専修学校こそがふさわしく、職業実践専門課程認定校が希望すれば、無条件で多くの学校が移行できるように切に願う次第であります。

また、政府は国内の「働き手」として外国人を受けいれており、専修学校各種学校で学び、国家資格を取得した外国人留学生の卒業後の国内における就労を可能とするため、在留資格の拡大を求めてまいります。

最後に今後、専修学校各種学校が教育機能を最大限発揮できるように、他の学校種との制度的格差の是正をもとめ、地域の実態に合った適切な学校運営ができるような環境整備のため、専修学校各種学校の運営に対する各県のさらなる支援の充実を強く要望することを、ここに決議いたします。

平成28年7月15日

全国専修学校各種学校総連合会 中国地区協議会